

### 目次・トピックス

市・県民税と所得税の申告	2 ~ 3
暮らしの情報	4 ~ 8
おむつ代の医療費控除と 高齢者の障害者控除 屋外運動施設の使用料を改定	
市民の情報	8
相談案内	9

## お知らせ版 2006. 1.25

### 小学校の英語活動 指導員を募集

担任の英語活動を補助していただく指導員を募集します。

勤務日時月～金曜日のうち3日以上で1日5時間 勤務先市内の小中学校 採用期間平成18年4月から1年間 対象英語を母国語としている方か英会話力が同じレベルの方 謝礼1日5千円 書類審査のうえ、英語による面接で決定。面接は2月23日 を予定 申込み2月10日までに教育センター( 申込書を用意 )へ 2956 2299

### ASSISTANT English Teachers in elementary school

required for Sayama Municipal Board of Education. Pick up an application form from Sayama Municipal Education Center Telephone:2956 2299



84%の児童が「英語が好き」と回答

## 「国際感覚の育成」に小学校から英語教育

市では、平成15年に「外国語早期教育特区」として国の構造改革特区に認定されたことから、16年4月から市内のすべての小学校で英語の授業が始まりました。小学生から外国語の授業を取り入れることで、国際感覚を養い、英米文化への理解を深め、そして世界に目を向けた人材を育てています。今月は、その取り組み状況をお知らせします。

### ■構造改革特区とは

構造改革特区とは、地方自治体や民間事業者などの自発的な立案によって、地域を限定し、その地域の特性に依拠して規制を撤廃・緩和することにより、特色のあるまちづくりなどを進める制度です。現在、全国で40以上の自治体が英語教育に関する教育特区に認定されています。

### ■授業は担任と英語活動指導員が担当

小学1・2年生で年間10時間、3年生以上は35時間で英語の授業を行っています。授業では、担任の教師と、全ての小学校に配置している英語活動指導員が共同で教え、ゲームや歌などを交えて、児童が楽しみながら、自然に語学力を身につけられるように工夫しています。

また、平成17年に市内のすべての小学生を対象に行ったアンケートでは、「英語が好きですか」という質問に対し、「好き」という回答が84%の児童から得られました。このことから、小学生から英語に接することで、苦手意識を持たずに授業に取り組んでいることが分かります。

この英語活動指導員は、市民や在日外国人の方などに協力していただいています。「自分の英語力を生かしたい方や興味のある方は、ぜひお問い合わせください。」

問合せ教育センターへ

2956 2299